

第3回国民的議論に関する検証会合

日時：平成24年8月28日（火）17：00～18：30
場所：中央合同庁舎4号館 共用第1特別会議室

2030年時点の原子力発電への依存度を1つの目安として、今後の日本のエネルギー政策の大方針を考える「国民的議論」。

パブリックコメント、意見聴取会、討論型世論調査、各種提言、そのほか様々な形で寄せられた9万件近いご意見をどのような手法で集約してエネルギー・環境会議に報告するか、世論調査の専門家の先生方などをお招きして検討する会合を開きました。

全3回中第3回の内容を、全て分割して論点ごとに動画をご覧ください。

[▶動画を全てご覧になりたい方はこちら【1時間37分】](#)

はじめに

※肩書きは、開催当時のもの



[枝野幸男 経済産業大臣](#)
[細野豪志 環境大臣](#) [あいさつ](#)
【3分57秒】

[これまでの議論のまとめ](#)
【3分56秒】

1.国民的議論から得られることについて

事務局からの説明

[今回の資料の性格について](#)
【1分33秒】

[＜資料1-1＞](#)
[＜資料1-2＞](#)

～資料の内容説明～

※各説明を視聴する際は、併せて関連資料もご覧下さい。

[①各調査の特徴](#)
【5分05秒】

＜支持率集計から得られること＞

[②結果の分析](#) [③数字が含む持つ意味](#)
【7分45秒】 【5分07秒】

＜論点集計から得られること＞

[④結果の分析](#) [⑤言葉が含む持つ意味](#)
【6分05秒】 【1分53秒】

＜総論＞

[⑥国民的議論が指し示すもの](#)
【1分44秒】

～出席委員からのご意見・ご質問～

- [次世代を担う若年層の意見聴取が不十分【5分13秒】](#)
- [討論型世論調査の意見の縮図性と、事後アンケートの結果について【6分54秒】](#)
- [マスメディアの世論調査で留意すべき回答の特性について【4分10秒】](#)
- [討論型世論調査に参加していない国民にも情報提供を行い、考える機会の提供を【3分54秒】](#)
- [マスメディアの世論調査で用いる電話調査、調査対象の年齢について【2分21秒】](#)
- [シナリオ支持率・意見分類の表記について【5分14秒】](#)
- [討論型世論調査の意義と、シナリオ選択時に考える4項目の葛藤【5分56秒】](#)
- [国民が求めている“社会のあり方”【1分09秒】](#)
- [政府発信の情報への不信について【2分30秒】](#)
- [今後、政府が討論型世論調査を行う際に留意しなければならないポイント【5分30秒】](#)
- [シナリオ支持率のまとめ方と受け取られ方【6分59秒】](#)
- [討論型世論調査で見た“国民の覚悟”【1分36秒】](#)

終わりに

※肩書きは、開催当時のもの



[細野豪志環境大臣](#)
[「若者世代の支持率の解釈について」](#)
【7分17秒】

[委員からのご指摘踏まえた最終的なまとめ方【53秒】](#)



[古川 元久 国家戦略担当大臣](#) [あいさつ](#)
【3分30秒】